

第2回 行政改革推進本部（議事要旨）

1. 日時 平成25年4月5日（金）8：25～8：30

2. 場所 院内大臣室

3. 議事

- 最初に、行政事業レビューの実施等について、稲田行政改革担当大臣より以下のとおり発言があった。
 - ・ 行政事業レビューについては、先般、行政改革推進会議において実施方法の改善等のとりまとめを行い、本日、その実施に関する閣議決定を行ったところ。各府省においては、これらに基づき、行政事業レビューを着実に実施し、事業のより効果的かつ効率的な実施、国民への説明責任の確保、透明性の向上を図り、国民に信頼される質の高い行政の実現に取り組んでいただきたい。また、基金を活用した事業については、基金シートを作成し、事業の透明化を図っていただきたい。
- 関連して、新藤総務大臣より政策評価を所管する立場から以下のとおり発言があった。
 - ・ 行政事業レビューの実効性をあげるためには、政策評価との連携・相互活用が極めて重要である。両者の連携を進めるとともに、政策評価の様式や評価指標の共通化、事務負担軽減の方策等について、更に工夫を行ってまいりたい。その際、様式の共通化等については、各府省の積極的な取組が不可欠であり、引き続き、各閣僚のご理解とご協力をお願いしたい。
- 続いて、調達改善の取組について、稲田行政改革担当大臣より、行政改革推進会議で了承いただいた方針に従い、各府省において調達改善計画を毎年策定すること等により、政府全体として推進する旨の方針を定めることとしたいとの発言があり、その後、資料4「調達改善の取組の推進について」を行政改革推進本部の決定とすることが確認された。
- 最後に、本部長である安倍内閣総理大臣から以下のとおり発言があった。
 - ・ 行政改革を進めていく上で、無駄の撲滅への取組を不断に行っていくことは極めて重要である。その際のインフラともなる行政事業レビュー及び調達改善計画について、政府一体となって取り組むこととする。閣僚においては、一層のリーダーシップを発揮し、積極的に無駄の撲滅に取り組んでいただくようお願いする。
 - ・ 行政改革は、政府全体に関わる重要事項であり、行政改革推進会議における審議を踏まえつつ、当本部を中心として進めていく。各閣僚には引き続きご協力いただきたい。

（文責：行政改革推進本部事務局 速報のため事後修正の可能性あり）